

概況(図1・2,表1)

房総丸(110ト)で観測した。5/6は北東の風が強かったので、C21,22と岬場のみ観測した。5/8・9に残りの定点を観測した。5/6と5/9の海況は図2のとおりで、数日で黒潮流路の位置が大きく変わっているため、観測結果の見方には注意が必要である。黒潮の離岸距離は表1のとおり。

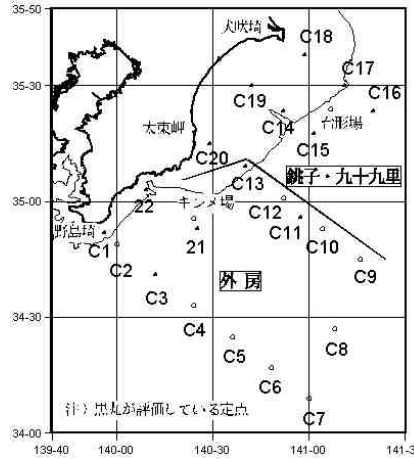


図1 定点位置

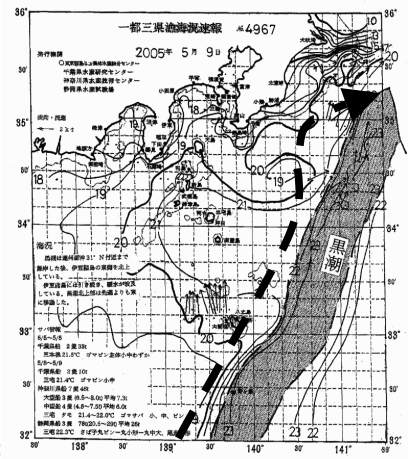


図2 5月9日の一都三県漁海況速報 (点線は5月6日の黒潮流軸)

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2005年5月)

基点・方向	距離(マイル)	階級
野島岬・南東	65	やや離岸
太東岬・南東	45	-
犬吠埼・南東	(45)	平年並

*(数字)は海洋速報(海上保安庁海洋情報部)より

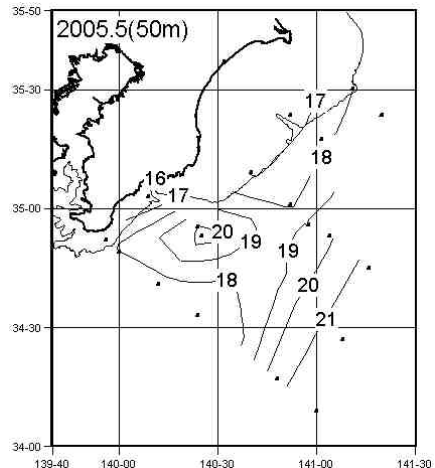
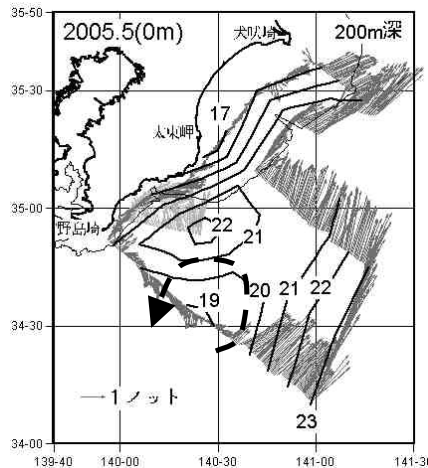
表2 水温の評価(2005年5月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	18.7	1.5	やや高め	19.0	1.2	平年並
50	16.54	1.44	やや高め	17.80	1.10	平年並
100	15.38	1.34	平年並	16.18	1.35	平年並
200	12.81	1.69	やや高め	14.20	1.23	平年並

*水温は各海域の評価点の平均値

水温(表2,図3・4・6)

先月同様「平年並」~「やや高め」であり、海面の平年偏差はC3を除き正の偏差であった。C21とC14は観測史上(1964年以降)2番目に高い水温を記録した(それぞれの平年偏差+3.29と+2.69)。



塩分(図4・5)

海面~200m深にかけて34.6~34.8であった。

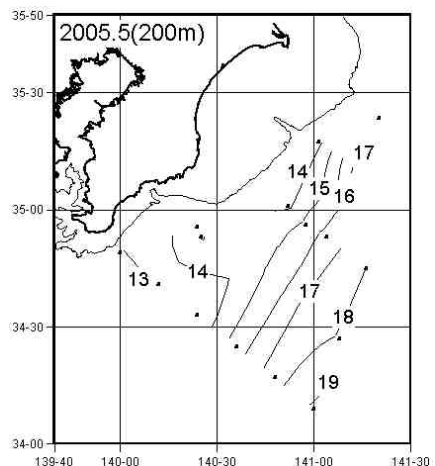
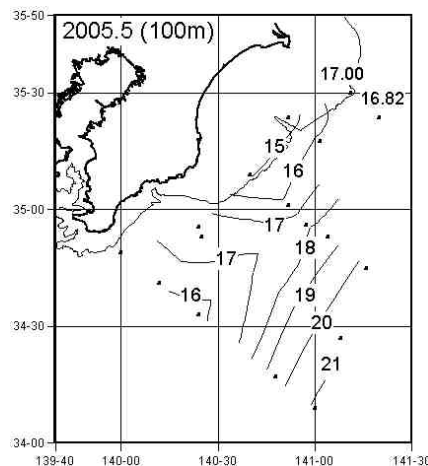


図3 水温の水平分布と流れ(流れは10m深,前半は灰色,後半は黒)

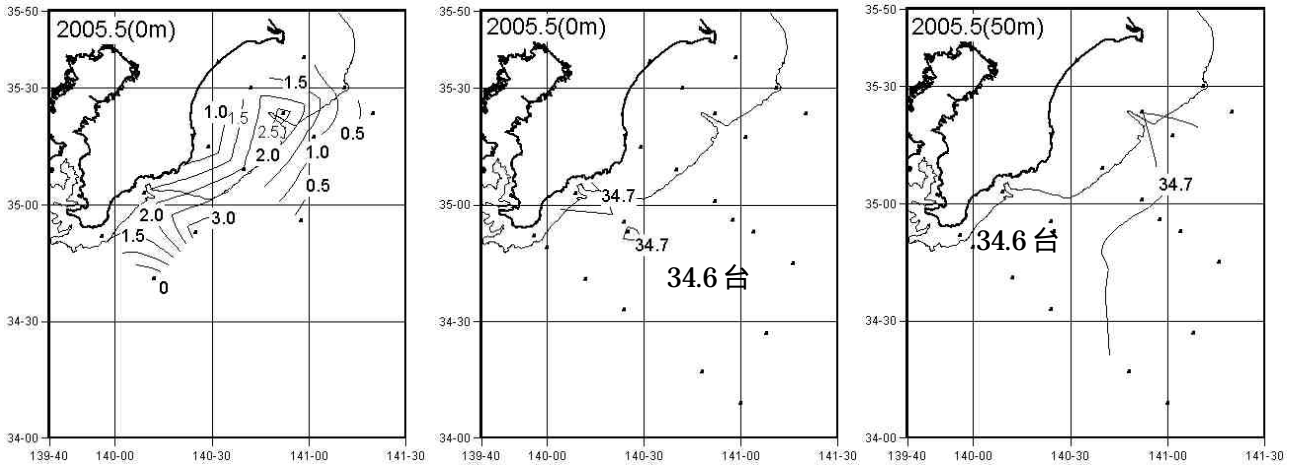


図4 海面水温の年平均偏差

流況 (図1・2)

2ノット以上の流れは、野島崎沖、太東岬沖、犬吠崎沖において、それぞれ50、30、20マイル以上沖合域で観測された。野島崎定線では半時計回りと想定される流れが観測された。

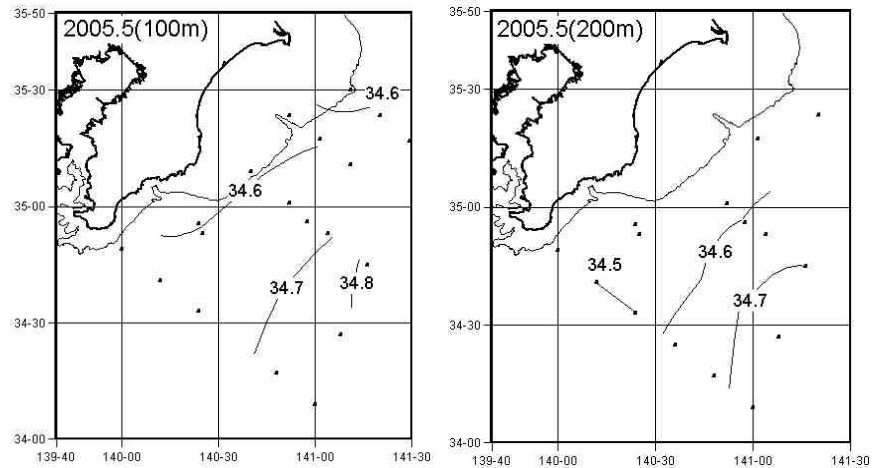


図5 塩分の水平分布

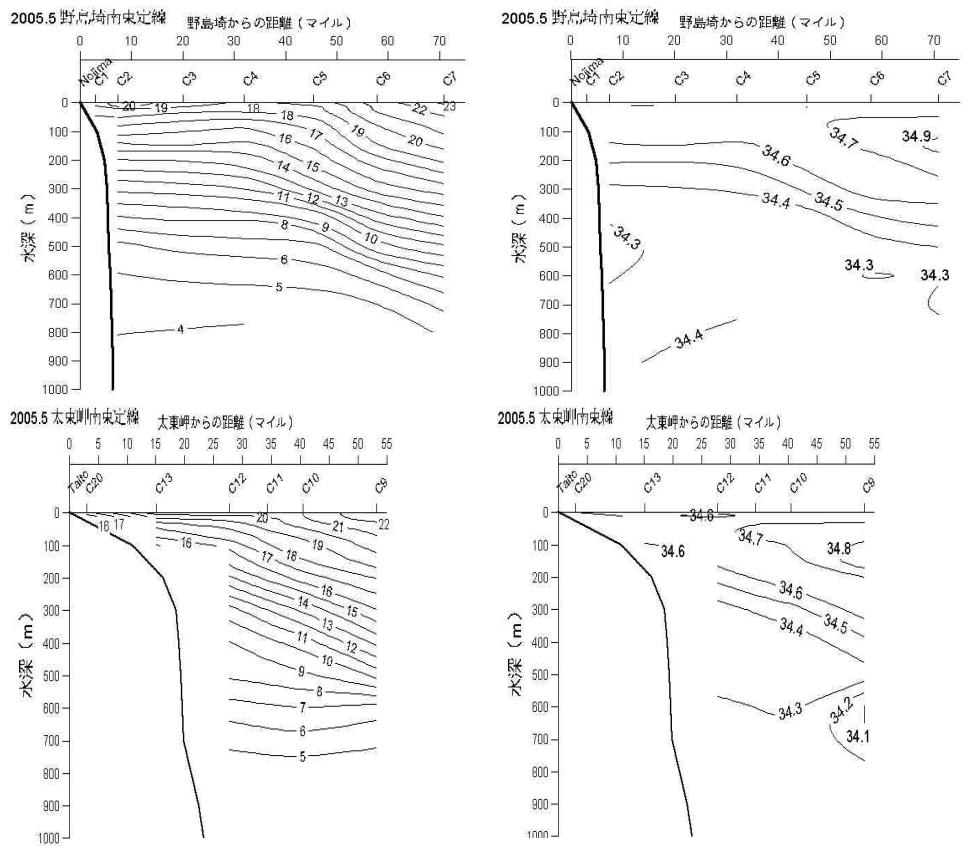


図6 水温と塩分の鉛直分布